

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 17 日(2023.8.17)

【公開番号】特開 2021-137367(P2021-137367A)

【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2021-044

【出願番号】特願 2020-38345(P2020-38345)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 8 日(2023.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知を実行可能な特定報知実行手段と、

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段と、を備え、

前記保留情報として、前記有利状態に制御可能な可変表示に関する特定保留情報を含み、

30

前記特定報知実行手段は、

特定タイミングにおける識別情報の可変表示である特定可変表示において、該特定可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合と、前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合とで、前記特定報知を実行可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記特定報知を実行し、

前記縮小可変表示手段は、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、該特定可変表示において前記特定報知が実行されたことに

40

関連して縮小識別情報を導出可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示に対応した縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記有利状態に制御されることを示唆する第 1 表示結果、又は、前記有利状態に制御されないことを示唆する第 2 表示結果を導出可能であり、

前記特定可変表示において、可変表示時間が第 1 時間である第 1 特定可変表示パターンと、可変表示時間が前記第 1 時間よりも長い第 2 時間である第 2 特定可変表示パターンと、のいずれかにより可変表示を実行可能であり、

前記特定可変表示において、前記縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記第 1 表示結果が導出される場合よりも、前記第 2 表示結果が導出される場合の方が、前記第 2 特

50

定可変表示パターンにより可変表示を実行する割合が高い、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

（Ａ）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって 10

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知を実行可能な特定報知実行手段と

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段と、を備え、

前記保留情報として、前記有利状態に制御可能な可変表示に関する特定保留情報を含み、前記特定報知実行手段は、

特定タイミングにおける識別情報の可変表示である特定可変表示において、該特定可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合と、前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合とで、前記特定報知を実行可能であり、 20

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記特定報知を実行し、

前記縮小可変表示手段は、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、該特定可変表示において前記特定報知が実行されたことに 30

関連して縮小識別情報を導出可能であり、前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示に対応した縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記有利状態に制御されることを示唆する第１表示結果、又は、前記有利状態に制御されないことを示唆する第２表示結果を導出可能であり、 30

前記特定可変表示において、可変表示時間が第１時間である第１特定可変表示パターンと、可変表示時間が前記第１時間よりも長い第２時間である第２特定可変表示パターンと、のいずれかにより可変表示を実行可能であり、

前記特定可変表示において、前記縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記第１表示結果が導出される場合よりも、前記第２表示結果が導出される場合の方が、前記第２特定可変表示パターンにより可変表示を実行する割合が高い。

（１）他の遊技機は、

識別情報（例えば演出図柄など）の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えば特徴部１００ＡＫのパチンコ遊技機１など）であって、 40

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば第２保留記憶バッファなど）と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知（例えば予告演出、表示結果対応演出、擬似可変表示など）を実行可能な特定報知実行手段（例えばステップＡＫＳ１０８の予告演出処理、ステップＡＫＳ１１０の表示結果対応演出処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１０１など）と、

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報（例えば小図柄など）の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段（例えば演出表示装置９の小図柄表示エリア９Ｋなど）と、 50

を備え、

前記特定報知実行手段は、特定可変表示（例えば特別状態最終変動など）において該特定可変表示と、該特定可変表示が実行されているときに前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示と、に関連して前記特定報知を実行可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記有利状態に制御可能な可変表示に関する特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されていない場合に、前記特定可変表示において前記有利状態に制御されないことを報知するための前記特定報知を実行し、前記特定可変表示が終了した後の前記保留記憶手段に記憶された保留情報に基づく可変表示において縮小識別情報の表示結果として所定表示結果（例えばハズレ組合せの最終停止図柄など）を導出可能であり、

10

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記有利状態に制御可能なことを報知するための前記特定報知を実行し、該特定可変表示と、該特定可変表示が終了した後の前記保留記憶手段に記憶された前記特定保留情報とは異なる保留情報に基づく可変表示と、において縮小識別情報の表示結果として、前記所定表示結果を構成する一部の縮小識別情報と、前記所定表示結果を構成する縮小識別情報には含まれない特殊識別情報（例えばVの文字を示す特殊小図柄）と、により構成される特殊表示結果を導出する第1パターンにより縮小識別情報を導出可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記有利状態に制御されないことを報知するための前記特定報知を実行し、該特定可変表示と、該特定可変表示が終了した後の前記保留記憶手段に記憶された前記特定保留情報とは異なる保留情報に基づく可変表示と、において縮小識別情報の表示結果として、前記所定表示結果を導出する第2パターンにより縮小識別情報を導出可能であり、

20

前記第2パターンにより縮小識別情報が導出された場合、前記特定保留情報に基づく可変表示において前記有利状態に制御されることを前記特定報知とは異なる態様（例えば救済演出）にて報知可能であり、

前記特定可変表示において、前記第2パターンにより縮小識別情報が導出される割合よりも前記第1パターンにより縮小識別情報が導出される割合の方が高い（例えば図18-2（B）で変動パターンPC1-4よりも変動パターンPC1-3に決定される割合が高い）。

30

このような構成によれば、特定保留情報に基づく可変表示において有利状態に制御されることを報知する場合に、事前に有利状態に制御されることを認識されてしまうことを防止できる。

40

50